

科目名	地理学の基礎 II	科目分類	□専門科目群 (第1グループ) ■総合科目群 (第2グループ)	
			全 学科	
			学科	
英文表記	Geography II	開講年次	■1年 ■2年 ■3年 ■4年	
ふりがな	いちかわ たかし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	市川 聖	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	地誌学概論			
授業概要	1. 地理学の知識を応用して、グローバルな視点で諸事象を分析できる資質を養う。 2. 日本を含めた世界の地誌について分析できるようにする。			
到達目標	1. 地理学の知識を応用して、諸事象を分析する資質を養う。 2. 地理学的な分析手法を習得する。			
授業時間外の学習	1. 日常的な地理的(地形、風土など)な観察を行うようにすること 2. 地域社会の課題について新聞やニュースを通して考えるようにすること 3. 講義の復習をしっかりと行っておくこと			
履修条件	特にありません。 地理学の基礎 I では「系統地理」、地理学の基礎 II では「地誌学」を中心に講義します。			
授業計画				
第1回	ガイダンス	地誌学とは何か 地理学の思想と歴史の変遷		
第2回	地理学の基礎と地域研究の方法	グローバル化の動向 民族問題 世界の農業と工業 人口と食料問題		
第3回	都市と農村の地理	都市地理と農村地理 地域調査の方法		
第4回	日本の地誌1	日本各地域の課題 (東日本)		
第5回	日本の地誌2	日本各地域の課題 (西日本)		
第6回	アジア地域1	韓国・東南アジア		
第7回	アジア地域2	中国・台湾		
第8回	アジア地域3	西アジア・南アジア		
第9回	地誌学の地域調査1			
第10回	オセアニア地域	オーストラリア・ニュージーランド		
第11回	ロシア			
第12回	南北アメリカ地域	アメリカ合衆国・ラテンアメリカ		
第13回	ヨーロッパ地域	EU		
第14回	アフリカ地域	サハラ以南のアフリカ		
第15回	地誌学の地域調査2			
第16回	定期試験			
テキスト	矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦造『地誌学概論』朝倉書店(2007) とうほう『新編地理資料2018』 二宮書店『詳解現代地図』			
参考文献・資料	講義中に紹介しますが、以下の文献は地理学の基礎的な知識を学ぶことができます。 矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦造『地誌学概論』朝倉書店(2007) 菊池俊夫『日本(世界地誌シリーズ)』朝倉書店(2011)竹内 淳彦・小田 宏信『日本経済地理読本(第9版)』東洋経済新報社(2014)			

成績評価の方法	<p>総合評価【定期試験(50%)、レポート(20%)、受講態度等(30%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テストを行うこともあります。 ・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。
成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
オフィスアワー	講義終了後
学生へのメッセージ	日常的に「考える」という作業を望みます。知識を暗記するだけではなく、現代の社会で実際に知識を応用することを意識してください。